

金沢大学附属病院脳神経外科で 脳腫瘍摘出術を実施した脳腫瘍の患者さんへ

「上縦束の走行パターンと視空間認知機能の関係」に関して

脳腫瘍の手術を行うと、正常な部分も摘出してしまふ、または傷つける可能性があるため、高次脳機能の後遺症が残ることがあります。視空間認知機能とは、高次脳機能の一つであり、左右の空間に均等に注意を払う能力で、この機能が障害されると病変と反対側の空間に注意を払えなくなる（本人はそれと気付かずに病変と反対側の空間が全く見えていないかのように行動してしまう）ため、日常生活に多大な影響を及ぼします。視空間認知に関わる主要な神経線維として背側上縦束が知られています。しかし、脳腫瘍の手術においては、背側上縦束の走行と推定される領域への腫瘍進展や当該領域の外科的摘出により、必ずしも視空間認知障害をきたすとは限りません。

今回、脳腫瘍患者における背側上縦束の走行パターンを調べ、視空間認知障害を来す要因を検討することにしました。本研究をとおして得られる結果より、脳腫瘍の手術において視空間認知機能を温存するために留意すべき事が明らかになるため、機能的予後や摘出率の向上だけでなく、術後の生活の質の向上にも大きく貢献すると考えられ、脳腫瘍の治療に携わる人にとって大変意義のあるものとなると考えています。

本研究は、通常診療の範囲内ですでに得られたデータ、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」において得た研究結果を用いて後方視的な検討を行う研究です。なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、医薬保健研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

研究の対象は2013年から2027年3月までの間に金沢大学で覚醒下手術を施行された方です。この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、あなたの資料を研究に供することはありません。

2. 研究の目的について

研究課題名：上縦束の走行パターンと視空間認知機能の関係

この研究では通常の保険診療の範囲内で行われた診療から得られたデータ、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」において得た研究結果を用いて、拡散テンソルトラクトグラフィーで描く上縦束の走行パターン、および前頭頭頂葉の機能的結合と視空間認知機能の関連を検討することにしました。

3. 研究の方法について

この研究ではすでに本学において脳腫瘍摘出術を施行された方の診療記録の記載情報、および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」で得た結果を用いて、後方視的に腫瘍浸潤と運動・高次脳機能転帰の関連を検討します。収集したデータと解析結果は学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報公表されることは一切ありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、金沢大学医学倫理委員会の承認日から2027年9月30日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・年齢
- ・病理，腫瘍の遺伝子情報（IDH-1, 1p19q, MGMT）
- ・MRI（T1, FLAIR, 拡散テンソル画像），病変の領域と範囲
- ・**安静時機能的MRI**
- ・手術所見
- ・術前から術後1年（最長術後2年）までの高次脳機能検査結果
- ・日常生活自立度，社会復帰についての情報

6. 外部への試料・情報の提供・公表

収集されたデータは学会や論文などに発表されます。

7. 予想される利益と不利益について

この研究は診療記録より後方視的に得られたデータ，および研究計画1797「脳腫瘍摘出術が高次脳機能に及ぼす影響および術後の回復過程」で得た結果を統計解析する研究であり，この研究に参加してもあなたに直接の利益はありません。また，不利益もありません。しかし，個人情報の流出の可能性が全くないわけではありません。データの取扱いについては，外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため，新たに個人情報を扱うことはありません。なお，診療記録より得た情報については，これまで実施してきたのと同様，研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り，データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また，これらの情報は鍵のかかる机に保管し，個人情報が流出することがないように，細心の注意を払います。また，この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが，患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用等の負担はありません。

10. 研究組織

研究責任者：金沢大学 脳神経外科学 教授 中田 光俊

研究分担者：金沢大学 リハビリテーション科学領域 助教 中嶋 理帆

1 1. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

1 2. 研究への不参加の自由について

あなたの情報が当該研究に用いられることについて、御家族・（患者さん本人の配偶者および本人の一親等以内の血族から協議し選ばれた方）の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2027年7月30日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

1 3. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたい場合は、ご遠慮なくいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

住所：金沢市宝町13-1

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262